

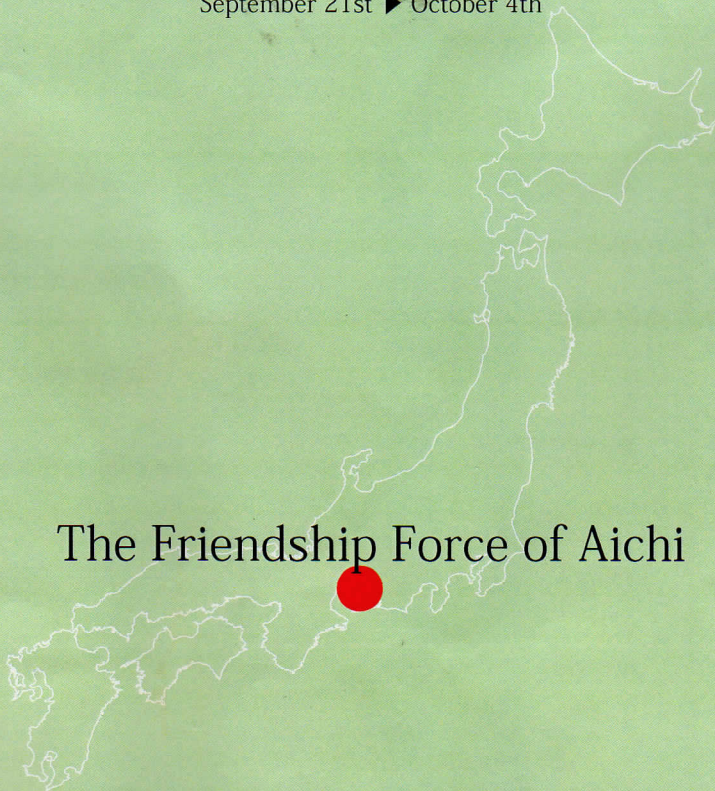
あなたと出逢えて、よかった。

Greater Harrisburg club & Central North Carolina club

2007 交換の旅

September 21st ▶ October 4th

The Friendship Force of Aichi



Greater Harrisburg club &

Central North Carolina club 交換報告

ED 鷹野 晴子

The Friendship Force of Aichi の今回の交換は久々に 20 名を越える参加者があり、直前のキャンセルもなく 21 名のメンバーがそろって元気よく出発できたことは幸いだった。サンフランシスコ→シカゴ経由で Harrisburg 空港に到着したのは夜 10 時を過ぎたにもかかわらず、ホストが両手を広げてにこやかな笑顔で出迎えてくれた。それはいつもながらアンバサダーをほっとさせる FF の交換の始まりであった。

1 週間のプログラムは Washington D.C. ツアー、Pennsylvania Capitol 見学、Amish Farm 見学と内容のあるものだった。改めてペンシルバニアがアメリカの歴史の中で最も重要な場所であることが実感できた。交換の中で印象的だったのは、日本人の女性 Masako Farrell さんの存在である。彼女は、アメリカの大学を卒業後、ペンシルバニアの Capitol でリタイアする数年前まで、長い間働いていたそうである。ワシントン D.C. へ行くバスの中で US Capitol の説明を日本語で書き出した沢山のカードを見せてくれた。私達に国会議事堂見学を楽しんでもらえるようにと勉強されたということを聞き、その誠意と努力には頭が下がった。

彼女はフェアウェルパーティーの席上で新入会員として皆に紹介された。聡明でそれゆえに謙虚な人柄はきっと FF Harrisburg の人々に信頼され、日米の相互理解に尽くされることと思う。

North Carolina では、Retirement Community にある美しいソーパーティー会場でのウエルカムパーティーから始まり、ラクダのマークで有名なタバコファミリーの住居だった Reynolda House Museum 見物、アパラチア山脈の中に位置する美しい Blue Ridge Parkway での散策、動物の成育環境を重視した 500 エーカーもの広大な North Carolina 動物園見物、その他の日はリラックスできる良く考えられたプログラムだった。

交換中にはいろいろハプニングもあった。Harrisburg 空港では久保さんと尾村さんのホストの到着が遅れたり、Greensboro 空港では佐藤さんのスーツケースが出て来なかった。また、Blue Ridge Parkway へのバスツアーの朝、バスが故障したため運行できなくなった。そうした時の彼らの対応は悠然としていて、我々とは少々差があることに気づかされた。スーツケースの件は「ホストが対応するから何も心配ないよ」と言われた。実際は翌朝早く、ドアの前にぽつんと届けられていたと佐藤さんから報告があった。バスツアーの件は、バスの故障で急遽ホストが運転する車に分乗して 2 時間半のドライブをすることになったが、何事もなかったかのように我々と美しい風景を共に楽しんでくれた。広大で美しいアメリカとその歴史に触れることが出来た実りのある訪問だった。参加者からはホストの誠意あふれたホスピタリティーと友情に感動し心の交流を何よりも楽しんだとの報告を得た。

この交換に参加された皆さんが民間大使として努力され、フレンドシップ フォースとしての良い交換が出来たことを嬉しく思います。ご協力有難うございました。交換成功のために誠心誠意頑張ってください。二つのクラブの ED をはじめ、ホスト、プログラム担当者、会員の皆様に心より感謝いたします。

私たちが受けた友情をさらに世界の多くの人々に伝えていきたいと思います。

ホストは?お土産は?

3回の渡航前打ち合わせで、着々と準備が整っていきました。

第1回ワークショップ

■日時：7月28日(土)

13:00～16:00

■会長挨拶：富岡 達也

■ED 挨拶：鷹野 晴子

■アンバサダー自己紹介

■議題：・交換スケジュールの概要

- ・アンバサダーの紹介
- ・フレンドシップ フォースの交換事業についての紹介
- ・渡航・交換の費用の説明、及び集金
- ・アンバサダーアグリーメントについて
- ・旅行社からの説明
- ・各部門担当者からの説明及び質問など

第2回ワークショップ

■日時：8月18日(土)

14:00～16:30

■議題：・ホストマッチングリストの配布

- ・フライトスケジュールの確認、及び旅費払い込みについての説明
- ・渡航先クラブ、及び現地の紹介
- ・役割分担とグループ分けなど

第3回ワークショップ

■日時：9月15日(土)

13:00～16:30

■会長挨拶：富岡 達也

■議題：・交換スケジュールの確認

- ・ホストファミリーの確認
- ・名札の配布
- ・旅行保険の確認
- ・記録集作成について
- ・受け入れクラブへの土産について
- ・役割分担の確認
- ・渡航先の勉強会
- ・エンターテインメントの練習など

費用

航空券代(空港税、燃油サーチャージ含む) 183,030 円

徴収金(交換フィー 230 ドル、ホストフィー 150 ドル、ローカルフィー 25 ドル/合計 405 ドル) 53,000 円

差額返金(レート換算戻し) 5,500 円

合計 230,530 円

14 日間の交換の旅。

一つ一つの出来事が、みんな思い出になっています。

○スケジュール		
9 月 21 日 (金)	13:45 (日本時間)	中部国際空港集合
	15:45 (日本時間)	中部国際空港からサンフランシスコへ
	11:20 ~ 16:50	サンフランシスコからシカゴへ
	18:35 ~ 21:21	シカゴからハリスバーグへ
9 月 22 日 (土)	午前	自由行動
	16:00 ~	ウェルカムピクニック
9 月 23 日 (日)		自由行動
9 月 24 日 (月)	6:00 ~ 21:00	ワシントン D.C. バスツアー
9 月 25 日 (火)	9:20 ~ 15:45	ハリスバーグ市内見学
	夕方~	グループディナー
9 月 26 日 (水)	8:50 ~ 12:00	アーミッシュファームツアー
	18:00 ~	フェアウェルパーティー
9 月 27 日 (木)	10:30 ~ 11:20	ハリスバーグからワシントン D.C. へ
	12:20 ~ 13:29	ワシントン D.C. からグリーンズボロへ
	14:00 ~ 15:30	ウェルカムパーティー
9 月 28 日 (金)	午前	自由行動
	13:00 ~ 17:00	レイノルダハウス美術館見学
9 月 29 日 (土)	9:00 ~ 17:00	バスツアー／メーブリーミル、ブルー・リッジ・パークウェイ、ワイナリーなど
9 月 30 日 (日)		自由行動
10 月 1 日 (月)	8:45 ~ 17:00	バスツアー／ノースカロライナ動物園見学
10 月 2 日 (火)		自由行動／ホストとの自由行動、オールド・セーラムのオプションツアー、ゴルフなど
	18:30 ~ 20:30	フェアウェルパーティー
10 月 3 日 (水)	10:20 ~ 11:30	グリーンズボロからワシントンへ
	12:41	ワシントン発
10 月 4 日 (木)	15:35 (日本時間)	成田着
	19:10 (日本時間)	成田から中部国際空港へ
	20:20 (日本時間)	中部国際空港着

話した。歌った。笑った。国境を越えた仲

ウェルカムピクニック

日時：9月22日(土) 16:00より

場所：トニ&ボブ・アルバート宅

歓迎挨拶、お礼挨拶、花笠音頭の踊り、オーマイ・サンシャイン・ふるさと合唱など



ワシントン D.C. バスツアー

日時：9月24日(月) 6:00 ~ 21:00

訪問場所：US キャピトル、国立アメリカ・インディアン博物館、アーリントン国立墓地 (J.F. ケネディ墓地) など



ハリスバーグ市内見学

日時：9月25日(火) 9:20 ~ 15:45

訪問場所：ペンシルバニアキャピトル、古い街並、教会、州立博物館など

間と、ハリスバーグで交換が出来ました。



アーミッシュ・ファームツアー

日時：9月26日(水) 8:50 ~ 12:00
訪問場所：アーミッシュ・ファーム、ギフト
ショップなど



フェアウェルパーティー

日時：9月26日(水) 18:00 より
代表者挨拶、記念品交換、
タップダンス鑑賞など

ハリスバーグからのメッセージ

To Aichi Friendship Force

There are big ships and small ships.
But the best ship is friendship !
May you always remember your moments
with your families in Pennsylvania.

The Friendship Force of Greater Harrisburg



ノースカロライナの自然と、グリーンズ

ウェルカムパーティー

日時：9月27日(木) 14:00～15:30
ホストメンバー歓迎挨拶、アンバサダー訪問挨拶、高齢者施設見学など



ノースカロライナ動物園見学

日時：10月1日(月) 8:45～17:00



レイノルダハウス美術館見学

日時：9月28日(金) 13:00～17:00

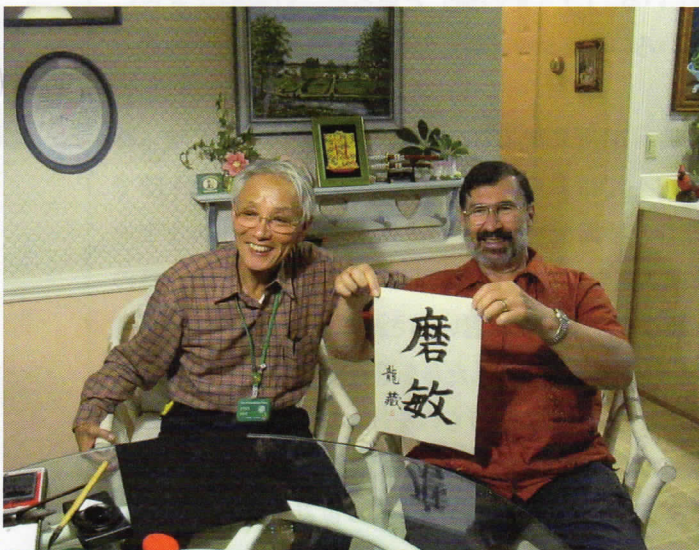


バスツアー

日時：9月29日(土) 9:00～17:00
訪問地：高原、開拓時代の水車小屋など



ボロの新しい家族が、迎えてくれました。



フェアウェルパーティー

日時：10月2日（火）18：30～20：30

場所：アライアンスセンター・オブ・ウィンストンセラム

地元の方による音楽会、アンバサダー全員の合唱、神本進一さんの手品など

ノースカロライナからのメッセージ

To Aichi Friendship Force

With warm regards to the friendship Force
Club of Aichi Japan.

We enjoyed your visit so very much and will
always remember you.

The Friendship Force Club of Central North
Carolina



ペンシルバニア・ノースカロライナでの交流の思い出 安藤 康彦

神秘的で美しい不思議な光景を見た。帰途アラスカの北極海上空で、見渡す限りの一面の白い雲海の中で平らにくぼんだ部分に太陽光が反射して、あたかも山なみのあちこちに湖が散在するように金色に光り輝いている。「アッ光の湖」と思った。幻想的な景色に吸い込まれ見とれていたら、今回の旅のいろいろなシーンが光の中に次から次へとよみ返って来る。



山荘でのパーティー（さすがにアメリカ）、旧所名所巡りの数々、議事堂の中心に立った感動、アーミッシュでは多様性が許される懐の深さ、ホスト邸での寿司の作り方の披露伝授、ノースカロライナではオールドセラムの散策、隣人を交えての日本料理のリターンバンケット、裏の湖でのカヌー乗り等々、鮮明に思い出される。いずれのホストも綿密なもてなしの計画を練り、私たちを迎えてくれた。その心に、国は違っても変わらない心というものを知り、本当に熱いものを感じた。善意あふれる暖かい光に包まれて、私にとって初めての2週間に亘る交流が出来た事、いろいろお世話くださったED、AEDはじめFFの皆様に感謝します。

不安から感激へ。素敵な思い出が増えました 安藤 昌代

ペンシルバニアとノースカロライナ訪問は、私にとって初めてのアメリカ東部への旅行、初めてのフレンドシップ フォースによる旅でした。ホテル滞在とは違い、どのようなお宅にお世話になるのかその当日までははっきりとはわからなくて、小さな不安と大きな期待を抱いていました。そんな私をどちらのホストの方々も気持ち良く迎えてくださり、豊かな自然の中で、とても快適に過ごさせていただきました。そして、バスツアー、ディナーパーティー、リターンバンケットなどを通して、笑顔と温かい心の交換が出来たと思っています。ホスト、ゲスト



の皆さんの笑顔のように明るく輝いていた真っ青な空も忘れられません。

今までホストの経験しかない私にとって、ゲストとして過ごした日々はとても貴重なものでした。すばらしい善意の心をたくさんいただいて、私の宝石箱の中の素敵な思い出がまた一つ、増えました。

それぞれのクラブの方々が、今回の交流について心を砕いて下さった事に、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

スケール、豊かさ、明るさ。すべてが驚きの連続

池田 政和

初対面のホストから手厚いもてなしを受けること…それは信じがたい貴重な体験でした。アメリカ人の生活、文化に生々しく触れました。Take and takeで、giveにはいろいろ反省点があったかと思います。その上、poor Englishでコミュニケーションに苦労しました。

アメリカは全てスケールが大きく、豊かで、クリーンな印象でした。ホストの方々は明るく、よく気配りされることは驚きでした。富裕層の方々でしょうね。

フリーデイにはゴルフ、ショッピング、コンサート、陶器工場見学、また近所の夫婦2組を

含めての交歓会（詩吟を披露）、ディナー（招待の形）などなど、カルチャーショックの毎日でした。

朝食前、テーブルの前で4人手を繋いでのお祈り、家の背景が広大で、鳥の餌が軒下に下がっており、鹿・リスなどが時々現れる…など。また、現地では日本のニュースがないにもかかわらず、日本の車や電気製品が浸透していて、モノづくり日本の面目躍如!…いろいろな感じ入ったことの多い滞在でした。

今後は、①英語力を改善すること ②日本の良さをより表現できること。であると痛感しました。



同じ薬剤師として、夫人の職場を見学

池田千恵子

ハリスバーグでは、夫は現役の弁護士、夫人は家庭の専業主婦でハイレベルな家庭でしたが、夫人の日常は、家でアイロンをかけたり、スーパーへ買い物に行ったり、日本と変わらない生活ぶりでした。私たちの部屋には私たちの写真が飾られるなどなど、きめ細かな歓迎準備に感動、また日本人以上の気配りのあるもてなしぶりに感激しました。食事も肉は少なく、野菜や果物に重点がおかれ、健康にはとても気を使っていたようです。

グリーンズボロでは、夫は製薬会社を退職して、もっぱら家をきれいにすることに全力をそそいでいる毎日、夫人は薬剤師として調剤薬局に勤務している家庭で、夫人の職場を裏

の裏まで見せてもらい、たまたま同じ仕事を持つ私にとって、とても参考になりました。

なかなか知ることのできないことでしたので、大変感謝しております。もう少し英語力があつたら、いろんな話ができたのにと思うと残念です。

グリーンズボロのご夫婦は、再婚10周年記念にぜひ日本に行きたいと言っておられましたので、2年後を楽しみにしております。

皆様方には大変お世話になり感謝しております。



日本の着物で、日本の文化を紹介しました

宇佐美さわ子

楽しみにしていた二週間のアメリカ旅行も無事終わり、帰って来ました。アメリカ旅行と言っても今迄は歴史に触れることはあまりありませんでしたが、さすがペンシルバニア（ハリスバーグ）、ノースカロライナ（グリーンズボロ）、ワシントン D.C.です。独立戦争、南北戦争、人種差別のキング牧師の事、4人の黒人が立ち上がり自由を勝ち取ったのがグリーンズボロだったことなど、いろいろ学ぶことができました。

最初にステイしたハリスバーグの家はご夫婦二人で住んでおられましたが、事あるごとに10人のお孫さんが集まり、計20人の写真が沢山かざってありました。これこそ子宝と言うものです。うらやましい限りでした。

グリーンズボロのお宅は一人暮らしの方でした。でも優雅に乗馬をしたり、家は掃除屋



さんに来てもらい、ボランティアで難民の方に英語を教え、ミュージアムの案内の資格を持ち、何事もパーフェクトに処理をして…いろいろな場面でアメリカの偉大さを見ることが出来ました。

私は何時も着物をもっていき着ます。そして、ステイ先では皆様に着ていただき、大変喜ばれました。少しでも日本の文化に触れてもらう上で、良いことだと思っています。皆様日本には関心が深く、歌舞伎、能、相撲、いろいろ聞かれました。もっと日本を勉強していかなくてはと思いました。楽しい二週間のアメリカ旅行をありがとうございました。

サスケハナ川で River Rat になりました

大崎 朱美

ハリスバーグをサスケハナ川が流れている。私のホスト、肝っ玉母さんのような Deeさんは、この川の近くの美しい町に住んでいる。嬉しいことに、Deeさんの友人ご夫妻のボートでサスケハナ川クルーズをすることができた。この川のクルーズのハイライトであるスリーマイル島の原発事故の跡を見たときはショックだったが、水遊びをする親子連れやモーターボートで疾走する若者などを見ながら心地よい川風に吹かれた。



ハリスバーグの人たちはこの川を愛し、この川を楽しんでいるようだ。そんな人たちを“River Rats”と呼ぶのだそうである。私も、Deeさんから You are now an official “River Rat” on the Susquehanna River. とのお墨付きをもらった。

27日、ハリスバーグの空港を飛び立った時、飛行機の窓から美しいサスケハナ川とスリーマイル島が見えた。今日もまた、この川の上には多くの River Rats が出てきているだろう。

観光地にほど遠く、自然の中での真のホームステイを体験した感の強い今回のアメリカ。ウィンドー越しには広大なグリーン、大きな木々、その中での鳥たちのさえずりを聞きながら味わったフレッシュフルーツのおいしさ。ハリスバーグの朝食が懐かしい。



ホスト Carlyn はとても明るく、行動派のキャリアウーマン。私たちを十分な心遣いでエンジョイさせてくれた。

最後の夜は思いもかけずカラオケバーへ案内してくれた彼女、突然のプレゼントをいただいた気持ちで一瞬おどろいた♡♡そして楽しかった♪♪ファイナルステージは数名のアンバサダー全員で「YOU ARE MY SUNSHINE」を唄い、周りのテーブルから拍手喝采?を受けてフィニッシュとなった。ありがとうキャロライン。ありがとうメンバーのみなさん。

アメリカの優しさに触れて

尾村 忠男

今回、初めてFFの交換プログラムに参加させて頂きました。アメリカへの旅行は初めてなので、どんな出会いがあるかと、わくわくしながら参加させて頂きました。最初のステイ先のペンシルバニア州では、ハリスバーグの少し南にある街、ゲティスバーグの街外れでした。ホストはスキンヘッドでいかつい顔をしたデニスさんです。閑静な住宅街で、森の中のリゾート地の様な所に、そのデニスさんの家がありました。家の地下室には鉄道模型がいっぱいで、線路が縦横無尽に張り巡らされていました。それを説明する時の彼の眼はキラキラと輝き子供の様でした。そうです、デニスさんはその風貌とは反対に子供の心を持つ優しいお父さんだったのです。お父さんは料理が苦手な様でしたが、一緒にステイした久保さんが得意の料理の腕を発揮して喜ばれました。(私も料理覚えようかな～)

さて、次のステイ先、ノースカロライナ州のホストはマーヴィンとリンダご夫妻です。お二人は見るからに優しそうなお人達で、マーヴィンさんはユーモアに富んだ楽しい方です。マーヴィンさんの車のナンバーは“UH—OH!”「アッオー」です。これ冗談の様な本当の話です。リンダさんはいつも笑顔を絶やさない方で、優しくゆっくりとした口調で話しかけてくれ



ます。ホストの家は、グリーンズボロの西の街ウINSTON・セーラムの少し北にあるジャーマントンという所にありました。そこは別荘地の様な感じの所で、森の中にポツリポツリと家があります。ホストの家も森の中に在り、森には小鳥や野兎が現れます。ここでのステイは、安藤龍蔵さんとご一緒させて頂きました。安藤さんは、写真、書道、茶道、絵、語学と多才で、話題が豊富です。

この様に、ホストや同伴者に恵まれ、おまけに天気にも恵まれ、本当に楽しい旅が出来ました。有難うございました。

Amish buggy に乗って

加藤 孝子

9月26日(水)、今日はハリスバーグ最後のランカスタートアーの日である。期待に胸をふくらませて出発。ホストファミリーのレスリー他3名が、運転手とガイド役になりワゴン車2台で出掛けた。アーミッシュファームハウスを見学し、近くのレストランで食事をとったが、田舎風スタイルで何でも揃っていた。マッシュポテト、チキン、ビーフ、野菜いろいろ、カレー、スープにデザート、人気があるとみえて、お客の列ができていた。



次は、アーミッシュ バギーの体験。二頭立ての馬車に乗ってアーミッシュ地区を見学した。私は幸運にも馭者の隣、つまり一番前で見晴らしは最高だった。農場、それと意外と小さなニワトリ小屋、農家の庭にはロープに洗濯物が干してあった。土埃りの立つトウモロコシ畑の中をゆられながら、電気を一切使わず、日の出と共に働くアーミッシュの人々の事を考えていたら、丈の高い草原の上をさわやかな風が吹き渡っていった。

アメリカは広くて大きい!

蟹江 直子

いちばん驚いたのは、住宅事情です。住宅街にある広い道、広い庭にゲストルームのある大きな家、あまりの感動に毎朝食事前にホストの家の周りを散歩して、一軒ずつ写真を撮りました。

ペンシルバニアでは、ホストの Leslie がアップルケーキを作るというので、手伝いながら教えてもらいました。広いキッチンで手早くあっという間にケーキの種を混ぜ合わせ、大きなオーブンで焼きました。なんでも簡単に見えてします。とっても美味しかったのでレシピをいただきました。

ノースカロライナでは、毎朝ホストの Sue が素敵な浴衣姿で入れてくれる香しいコーヒーを片手に二人で裏庭に出て新聞を読んだり、お喋りしたり、bird watching をして楽しみました。夢のようなひと時でした。

ノースカロライナの伝統料理、GRITS、コーンブレッド、カントリーハムなど珍しい食べ物を一生懸命作ってくれました。

今回ホストしていただいて、あらためてホストのご親切に感謝します。



アメリカ東部交換を終えて

神本 進一

ハリスバーグ、グリーンズボロどちらの滞在先も森のなかの閑静な場所にあり大きな家でした。どちらのホストファミリーも以前住んでいた家が狭いので引越したそうです。何故二人だけの生活なのにこんな大きな家が必要なんですか?と尋ねたら、日本のお客様をお迎え出来るようにと、冗談のように言われましたが、アメリカ人はパーティー好きなので大勢の人たちを招くことが多いからかなと思いました。

毎日どちらのホストファミリーも私たちを退屈しないように、気を遣って下さっているようでした。

一般の観光旅行では味わえない貴重な体験が出来ました。今回のステイで関心があったのは、普段のアメリカの生活様式を見ることです。スーパーや銀行、郵便局、本屋、おもちゃ屋に連れていってもらったり、食生活も見て体験しました。



私は初めて七面鳥の料理と本場のタコスを食べましたが、本当に美味しかったです。何もかも美味しく頂くことが出来ました。あるレストランの昼食で、ウェーターから「何を召し上がりますか? スーパーサラダですか?」と聞かれました。スーパーサラダとは超特大のサラダかと思いましたが、どうもおかしいと思って聞きなおしたら、スープ or サラダ? のことでした。(大爆笑)

この2週間、天気もよく、素晴らしいホストに巡り会えて貴重な体験ができました。21名のアンバサダーと楽しく過ごせて有難う御座いました。

アメリカを旅して

神本 恵子

ハリスバーグ、グリーンズボロ、どちらも仲の良いご夫婦でした。また、どちらも未だ働いてみえ、私達の為に貴重な時間を割いて下さいました。とても有難かったです。

ハリスバーグでは開拓当時の様子をもとにしたネイティブアメリカンとイングリッドから来て山に入った若者の物語のDVDを見せて貰いました。それからソーリーゲームというのもやりました。私は二回して二回とも最下位でした。夫人のパティさんは上手で一番か二番で



した。日本の双六に似たところのあるゲームでついつい夜中になってしまいました。

また、グリーンズボロのご主人ダンさんは会社を経営してみえ、会社に行くときのダンさんはとても素敵でした。夫人のパティさんはとても聞きやすい英語を話してくださり、つたない私の英語でも何とか理解して下さいました。

塩沢の紬の帯を持ってみえ、「壁掛けにしようか」と言われたので、和裁をしていた私にはとてももったいなく思え、着物を送る約束をしてきました。

私は、ペンシルバニアの (Gettysburg) 男一人住まいで犬 2 匹と 1 エーカーの土地を所有するホストの所に、初参加の尾村さんと世話になった。この場所は 1863 年南北戦争終結の激戦の地区で、広大な National Military Park に 2 度訪れ感動を覚えた。ホストの Dennis は鉄道マニアで 30 坪以上の部屋には、3 層の町が再現されていた。食事は男やもめで、殆ど準備が出来ず、毎朝私が作る羽目になったが、これもよい体験になった。

ノースカロライナは、今年の 3 月にアトランタの FF30 周年記念大会でお会いした会長 Carol と Fred の所にステイした。ホストの家はとても綺麗好きで、料理も今までの中で最高に美味しかった。私も日本料理を披露してとても緊張したが、6 人のゲストが御代わりしてくれたので安心した。料理は何時も大変だが、日本文化の交流と思えば、腕をふるって頑張ろうと思う。413 個の折紙でスワンと、96 個で作った船を両ホストに土産を持参したら、とても好評だった。また、他のメンバーの 4 人の方にも現地で折って差し上げた。私の 1 番の趣味であるゴルフが、2 回もプレイ出来たのは最高であった。しかも、フォレストオーク CC は USA ツアーでも有名な所なので感激した。



終の棲家

竹中ふみ代

私のホストは、両クラブとも未亡人。ハリスバーグのホストは、70 歳の若さ(?) ですでに老人ホームに入居。でも、その住まいは自立型で機能的な間取りの上に、ゲスト用バス・トイレ付きのベッドルームもあるという豪華さ。彼女はというと、フロリダまで一人長距離ドライブも何のその。また、孫とジェットコースターの最前列席に乗る事とスリラー小説が大好きというパワフル・グランマ! しかも、昼食に重きを置き、夕食は原則として食べないという健康志向派で、自分のペースを崩さないしっかりした人。

軟弱な私は、そんな彼女に最初は戸惑いつつも、滞在後半には、気さくでさりげない彼女流のおもてなしを心地よく感じるようになりました。「いつでも泊めてあげるよ。これは社交辞令ではないからね」との温かいお言葉もいただいて大感激。ノースカロライナのホストは、一戸建てに住む 78 歳。おしゃれでユーモアのセンスも持ち合わせた魅力的な人。ボランティア活動にも積極的で、教会で行われている勉強会の講師や女性コーラスグループにも所属していて、そのコーラスグループの「老人ホーム慰問」に同行させていただく事もできました。美しい歌声の合間に寸劇を組み入れた楽しいパフォーマンス。入所者の多くに笑みがこぼれ、音楽療法の効果を目の当たりにしたひと時でした。



彼女は関節炎で手足にわずかな不自由さがあるのですが、いつも笑顔を絶やさず、多くの良き友人・隣人と共に助け合いながら、ひとり住まいを楽しんでおられます。

今回のホームステイでは、自分らしく生き生きと暮らしておられるタイプの異なった二人の姿が印象的でした。そして私自身の老後の生き方について、あらためて考える機会にもなり、個人的にも意義のある交流となりました。

私のアメリカでのホームステイ

鷹野 晴子

Harrisburg 空港では、優しい笑顔の Jo-Ann が待っていた。Husband は?と聞くと遠くのベンチにぼつんと腰掛けていた。近づいていくと杖にすがってそっと立ち上がった。今から車を運転して家まで行くと言われた。ED の Gidge が彼を待たすといけないのですぐに行くようにと耳元でささやいた。その瞬間、私はこの 77 歳のご夫婦と 1 週間、お互いに楽しい生活をしようと考えたのはごく自然のことだった。



次の土曜日はフリーデー、「明日はどこへ行きたい?」と聞かれたので、この素敵な家と庭で過ごしたいと答えた。1 エーカーの森の中の家のベランダで木々のかおりをかきながら、コーヒーを飲んで、資料や本を読んだり、Carl と話したり、ぼうっとしたり、訪れてきた孫と話したりした。「このようなすごし方は最高、ありがとう」と言うと、二人とも「私達もあなたが楽しんでくれて幸せです」と微笑んだ。双方が楽しめたホームステイだと思った。

ノースカロライナでは、ED の Paul と Marcia の家にステイした。お互い映画と音楽が共通の趣味だと分かり、私が「The Pianist」の映画は感動した。あの映画の中のショパンのノクターンが好きです」と話したら帰国する前の晩、プレゼントだといって渡されたのはなんと Pollini の Chopin Nocturns の CD だった。山田さんではないが胸が一杯になって、横にいる Paul に思わずハグしたいところだったが握手して Marcia にハグした。インテリジェントで感情表現も控えめなご夫婦の温かい心に感動した。帰国してからは毎日ショパンの CD を聞いている。

Not here

佐藤美知子

ハリスバーグでは一人住まいのキャロライン宅に大津さんと、グリーンズボロでも一人で住んでみえるマリリン宅に竹中さんと一緒にお世話になりました。お二人とも、とてもよくして下さり、とても感謝しています。

グリーンズボロの空港で、私の荷物がなかなか出てきませんでした。女性の係員がメモを片手に事務所から出て来たので、その事を言うと、メモを見て「NOT HERE」と言い、スーッと私の所から離れて行きました。エーッ?!一瞬、彼女の言葉が信じられませんでした。その後、夜の 18 時 50 分頃にステイ先に届けてもらえることを聞きステイ先で待ちましたが、約束の時間が過ぎても届けられず、マリリンに催促の電話をしてもらいましたが、相手の言葉に訛りがあるらしく彼女さえうまく聞き取れず、さすがに私も心配になってきました。苦勞のやり取りの末、22 時前に届けてもらえるということで電話を切りましたが、またまた届きませんでした。



翌朝、新聞を取りに行った彼女が大声を上げていましたので、急いで行くと玄関先に私の荷物がポツンと置いてありました。いつ、何時頃、なぜ連絡もなく置いていかれたのか?びっくりすると同時に治安の悪いと言われるアメリカで思いがけない経験をしました。

道路から坂道を登っていくと、木々の間からやっと現れた家。
山の斜面を利用したこのすばらしい家は、9年かけた手造り。
朝起きると、窓の外にはたくさんの小さなリスや小鳥。
しばらくすると、美しい、しなやかな姿の鹿。
おもわず呼びかけると、優雅に飛んで逃げて行く。スローモーションのように。
ノースカロライナでは。道路わきには広い緑の庭が、
その奥に、大きな樹に囲まれた家が続く住宅。



緩やかな丘を曲がりながら上っていくと、静かにどっしりとした大きな家。
ここも、たくさんの小鳥のさえずり。
何よりもすばらしく、嬉しかったのは、私たちへのもてなし。
夫婦そろって仲が良い、そして気配りが…。
ほとんど毎朝のコーヒーと卵焼きはご主人が。夕食の後片付けも。
別に、何はどちらかと決まっているわけではないのに、二人いつも一緒に台所に。なんと仲がいいのでしょうか。
再度説明されても、よく理解できず、怪訝な顔をする私。

すると、一緒になって、大きな声で、はっきりと、そして、ゆっくりと言いついてくれる。
何とか伝えようと涙ぐましい努力。ごめんなさい。こちらの勉強不足です。
意味が良く理解できなくても、その温かな心遣いは充分伝わってくる。有り難い。
毎日のハードスケジュール。無理な要望にも心を砕いて応えてくれる。
朝、暗いうちから、夜遅く帰るまで。こんなに親切にさせていただいて、お礼の言葉が見つかりません。民間使節として、私たちは何を伝えられたのでしょうか。
教えられることばかり。
内容が濃く、忙しかった2週間。
英会話の能力不足を痛感すること頻りです。

ハリスバーク&ノースカロライナの渡航を終えて

日比野みち子



私たちのホスト Jean & Hank は、3人の子供と9人の孫を持つ素敵な Family…
Hank は弁護士さんで、今では週に1~2度 Office へ。そして、あとはゴルフ三昧…
Jean は Nice lady. 優しく美しい人。2人暮らしで時々孫が訪ねて来るといふ理想的な家庭。
Poor な私の英語力で充分な話が出来ない事が残念でしたが、Jean が私の所属している会の会員であった事に驚き、運命的な出会いを感じました。

彼女もまたそう思ってくれたようで帰りの空港では私の肩をしっかり抱き、名残惜しそうに熱い言葉を囁いてくれた…気持ちの通じ合うひと時でした。

詳しい予定表のおかげで、アメリカを満喫できました

村田ひとみ

今回のアメリカ旅行は本当に楽しい旅でした。ペンシルバニアとノースカロライナの host、そして同宿した大崎さん、宇佐美さん。共にすばらしい方々からいろいろ気遣いをいただき、ありがとうございました。

Greensboro の Kit は、宇佐美さんと私のために毎日の予定表を F.F のスケジュールとは別に作って準備していただき、これからの活動にとっても参考になりました。



例えば、28日午前10時、Day Host Jane & Cauthen が迎えに来て Winston-Salem に行きます。29日午後6時30分、Carol & Fred will pick you up for dinner このように細かく書いてありました。

以前からアーミシュの生活を覗いてみたいと思っていましたが、その機会も得られ、そして Old Salem を丸1日かけて説明してもらってまわることができました。アメリカの歴史に少し詳しくなったような気がします。

そしてお世話してくださった皆様にお礼申し上げます。

楽しかったアメリカのステイ

山田 晴久

ペンシルバニアのマレッタさんとデイブさん、ノースカロライナのリロイさんとバレリーさんは、私を家族の一員として大変やさしく、フレンドリーに迎えてくれた。未だかつてない本当にすばらしい経験をさせていただいた。特にバレリーさんは買い物に行く時も、食事に行く時も私の手をいつも取って歩き、陽気に振る舞ってくれた。二日目の夜、リロイが「ハル、お前タキシードを持ってきたか」と突然聞いた。「タキシードなど持ってくるはずないよ。だって今まで着たこともない」と話すと、「でも結婚式には着たことあるでしょう」とリロイは言う。実は、明後日の黒人だけの有名なパーティーに参加してほしいとのこと。無理だと断ると、彼は大変さびしそうであった。朋子さん（安藤夫婦がステイした隣の人）が「あの有名なパーティーには絶対出なさい」と勧めてくれた。私はリロイに「ぜひ出させてください」と言うと、彼は嬉しそうに OK し、すぐにタキシードを借りに私を連れていってくれた。レンタル料は150ドルであった。「パーティー代はいくらですか」と尋ねると、リロイが「あなたはタキシードのレンタル料がかかったからパーティー代は150ドルだが俺が持つよ」と言った。しかし「150ドルには、いくらかはドネーションが含まれているのだから、私にも払わしてください」と頼んだら、リロイはそんなに言うならと受け取ってくれた。そしてその夜生まれて初めて、すばらしいパーティーにリロイさん、バレニーさん、大津さん、日比野さんと5人で参加した。一生忘れることのないすばらしい経験でした。パーティーが終わって家に帰り、リロイさん、バレリーさんと乾杯。私とリロイは永遠のブラザーであることを誓いあった。



今回の渡航でE Dの交代という事態があり、AEDの役目も分からぬまま引き受けました。まず、訪問先に関する資料を作成し、ワークショップをしました。先方のクラブとの連絡等は、すべてEDの鷹野さんの手元で進められています。従って、補佐役としての私は、渡航中、EDの負担を少しでも軽減できたらと、全体の掌握と写真撮影に努めました。

実りの多い今回の渡航でしたが、私なりに感じたことの一端を述べさせていただきます。空港で、預けた荷物が出てこない事態がありました。一人取り残された時の対応について、知っておくことが必要だと思いますし、こうした事態に備えて、緑のベルトか色布を目印として揃えて荷物につけることも一つの方策でしょう。また、団体で行動する場合の注意点として、人員の確認、二人以上で行動すること、移動前にトイレの時間をとること等が大切だと思います。もちろん、場所を離れる時は、その旨を誰かに告げることは基本的なことといえるでしょう。

個人的なことですが、ノースカロライナでのウェルカムパーティーでは、全員が一人ずつスピーチをするプログラムがありました。英語が苦手な私だけに、多少のスピーチぐらいはできるように準備しておけばよかったと、今更ながら悔やまれてなりません。

ペンシルバニアとノースカロライナの今回のホストは、20haと3haという広い土地に住むホスト宅でした。ペンシルバニアのトニーは、母親の事故の連絡を受けた後も、心配をよそに時間を割いて世話をしてくれました。両方の家庭とも朝食は、シリアルに牛乳、ヨーグルト、ジュース、果物。また、料理はオープンを使ったものが多く、伝統のコーンブレッドのレシピを教えてもらい一緒に作りました。また、野鳥やリス、鹿などの動物が、家の目の前までくる環境でした。こうした2週間のホームステイの中から、アメリカ東部の文化、生活の豊かさを改めて知ることができました。

ホストとの出会いは、それぞれです。期待にそぐわない場合もあれば、あまりの歓待に戸惑いを隠せないアンバサダーもいました。これも交換のマッチングではどうしようにもできないことだと思います。

渡航の交換でいつも思うことは、ツアーでは、知りえない異国の文化とその国の家庭での生活を知ることができることです。国は違っても、お互い人間としての人情の機微に触れることの喜びがあります。心を開き交流を深めるところにFFの基本精神を感じた2週間でした。



みんな仲間になりました。みんな家族になりました。

○アンバサダー

鷹野晴子 (ED)

〒470-2101 知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37

安藤龍藏 (AED)

〒486-0904 春日井市宮町字宮町 137

安藤康彦・安藤昌代

〒468-0075 名古屋市天白区御幸山 443

池田政和・池田千恵子

〒468-0074 名古屋市天白区八幡山 1233

宇佐美さわ子

〒492-8137 稲沢市国府宮 2-6-23

大崎朱美

〒475-0962 半田市岩滑高山町 5-88-16

大津伊津子

〒492-8137 稲沢市国府宮 2-15-18

尾村忠男

〒475-0925 半田市宮本町 4-18-21

加藤孝子

〒475-0833 半田市花園町 6-3-12

蟹江直子

〒470-2327 知多郡武豊町天神前 2-152

神本進一・神本恵子

〒444-1221 安城市和泉町八斗蒔 60-13

久保三郎

〒458-0013 名古屋市緑区ほら貝 1-361

佐藤美知子

〒476-0011 東海市富木島町新長口 1-6

竹中ふみ代

〒463-0011 名古屋市守山区小幡 1-19-10

橋本忠幸

〒487-0005 春日井市押沢台 1-3-20

日比野みち子

〒477-0032 東海市加木屋町東大堀 12-25

村田ひとみ

〒477-0032 東海市加木屋町北平井 60-35

山田晴久

〒460-0011 名古屋市中区大須 3-22-33

○ホスト——ハリスバーグ

Gidge Geegee

104 South Stoner Avenue,
Shiremanstown, PA 17011

Toni and Robert Albert

500 Andersontown Road,
Mechanicsburg, PA 17055

Myretta and David Anderson

2821 North Second Street,
Harrisburg, PA 17110

Leslie and Jodey Brelsford

351 Equus Drive, Camp Hill, PA
17011

Mary Flurie

665 Old Quaker Road, Lewissberry,
PA 17339

Carl and Jo-Ann Haubert

357 Bethel Church Road, New
Cumberland, PA 17070

Bev Headley

5225 Wilson Lane Apartment 4103,
Mechanicsburg, PA 17055

Carolyn Hoffman

454 Woodland Drive, Dillsburg, PA
17019

Jean and Hank Johnson

425 Devon Road, Camp Hill, PA
17011

Dennis Meany

404 Shealer Road, Gettysburg, PA
17325

Deloris (Dee) McElroy

104 South York Street, P.O. Box 104,
Etters, PA 17319

Bev and Ken Sabel

16 Maybelle Court, Mechanicsburg,
PA 17050

Pat and Dennis Stromberg

4 Indiana Circle Lemoyne PA 17043

Pat and Dan Tepsic

632 Davis Drive, New Cumberland,
PA 17070

Carl and Jo-Ann Haubert

357 Bethel Church Road
New Cumberland PA 17070

○ホスト—セントラルノースカロライナ

Paul and Marcia Meis

1228 Idlewild Heath Drive,
Winston-Salem, NC27106

Jim and Barbara North

5700 Tanyard Court, Oak Ridge,
NC27310

Don Sylvester and Patti Gilmore

4101 Cascade Drive, Greensboro,
NC 27410

Laura and Denver Lennon

2421 Old Towne Drive, Greensboro,
NC 27455

Carol and Fred Andresen

1502 Pebble Drive, Greensboro,
NC 27410

Marvin and Linda Scherl

6740 Germanton Road, Germanton,
NC 27019

Kit Ravenal

416A Fisher Park Circle,
Greensboro, NC 27401

Marilyn Baird

324 Hambrick Court., Winston-
Salem, NC 27106

Mahlon and Avenue Honeycutt

6 Dunkirk Place, Greensboro, NC
27410

Hazel Bowen

1004 Dalewood Avenue., High
Point, NC 27265

Sue Schock

605 Westchester Drive, High Point,
NC 27262

Leroy and Val Stokes

4 Oliver Court, Greensboro, NC
27406

編集・発行 FF 愛知

編集委員 鷹野晴子、安藤龍蔵、佐藤美知子、橋本忠幸

事務局 〒 470-2101

愛知県知多郡東浦町森岡祖母懷 15-37

鷹野晴子